

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

(令和5年度施策・実施事業分)

令和6年10月

宇陀市教育委員会

はじめに

宇陀市教育委員会では、教育行政のさらなる充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、ここに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書」（令和5年度施策・実施事業分）をまとめました。令和5年度に執行した教育委員会の主な事業を宇陀市教育大綱に基づく基本方針の項目ごとに分類し、目標の達成状況・進捗状況について教育行政点検評価支援員の意見を踏まえながら点検・評価しております。本報告書については、市議会に提出いたします。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

宇陀市教育委員会

教育長	田淵	泰央
委員	峯畑	忠郎
委員	山本	眞二
委員	鈴木	俊司
委員	橋本	道雄

1 施策・事業点検及び評価の実施概要

宇陀市教育委員会は、「宇陀市教育大綱」及び年度ごとの「宇陀市学校教育の指導方針」、「生涯学習振興指針」等に基づき、社会環境や財政状況に弾力的に対応した施策・事業を遂行しています。その具体的な取組に関して目標達成状況等を踏まえた点検・評価を行いました。

今回の点検・評価の対象は令和 5 年度に実施したうちの主な施策・事業です。

2 宇陀市教育行政点検評価支援員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが点検・評価をした結果について学識経験者 2 人に点検評価支援員を委嘱し、教育面での効率性・有効性の観点から改善点などについてご意見をいただきました。

施策・事業を見直す上で、点検評価支援員の専門的で中立的な指摘を総合的かつ客観的に捉え、また、真摯に受け止め、職員の意識改革につなげてまいります。

■支援員の氏名

樫 啓典 氏 (宇陀市在住)

井上 正司 氏 (宇陀市在住)

■点検評価支援員と教育委員会事務局職員による会議開催

令和 6 年 7 月 10 日 (水) 午前 9 時～午後 5 時

[教育委員会が行う事業の概略説明と質疑応答、点検評価支援員からの総括的な意見]

3 教育委員会の主な運営・活動状況

総合教育会議において、宇陀市の目指すべき教育を「宇陀市教育大綱」としてまとめ、この大綱に基づく 4 つの基本目標とそれらを推進するための 23 項目の基本方針に則って課題に取り組んでいます。

本年度も、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 4 並びに第 14 条及び第 21 条に基づき、次に掲げる教育に関する事務を管理し、執行いたしました。

- ・教育委員会の会議
- ・総合教育会議
- ・教育方針及び教育計画の策定
- ・教育に係る調査及び統計
- ・学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止
- ・事務局及び教育機関の職員の人事
- ・児童生徒の就学
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導
- ・教科書その他の教材の取扱い
- ・事務局及び教育機関の職員の服務及び研修
- ・学校施設及び設備の整備
- ・教職員に対する指導助言
- ・学校保健
- ・学校給食
- ・生涯学習の振興に係る施設の企画及び調整
- ・社会教育の基本計画及び総合調整
- ・社会教育に関する施設の設置及び管理
- ・社会教育団体の指導育成
- ・家庭教育、青少年教育、成人教育及び公民館事業
- ・文化及び芸能の振興
- ・スポーツ・レクリエーションの指導奨励
- ・文化財の保護、活用及び啓発
- ・文化財の指定、調査、研究、記録及び資料の作成 等

(1) 総合教育会議の開催

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4に基づき、2回開催されました。

■令和5年度第1回宇陀市総合教育会議（令和5年7月12日）

- ・第3期宇陀市教育大綱の制定に向けて

■令和5年度第2回宇陀市総合教育会議（令和6年2月20日）

- ・第3期宇陀市教育大綱（案）について

(2) 教育委員会の会議の開催

教育委員会の会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条及び「宇陀市教育委員会会議規則」に基づき、令和5年度は定例会11回

と臨時会 1 回、合計 12 回の会議を開催しました。

教育委員会の会議は原則公開しており、令和 5 年度の傍聴者は 13 名でした。

(3) 教育委員会審議案件等の実績

教育委員会の会議では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「宇陀市教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、種々の案件について十分な議論、審議を行いました。

さらに、各担当課から所管する事務について詳細な報告や協議を行うことで、教育委員会と事務局が同一の施策の方針の下で、一層事業が充実、推進されたと考えています。

〈令和 5 年度の審議案件〉

■4 月定例教育委員会（4 月 26 日）

- ・宇陀市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について（後任）
- ・令和 5 年度宇陀市教育支援委員会の審議結果について

■5 月定例教育委員会（5 月 31 日）

- ・令和 5 年度宇陀市教育行政点検評価支援員の選任について
- ・令和 5 年度宇陀市教科用図書選定委員会委員及び
令和 5 年度宇陀市教科用図書選定委員会調査研究員の任命について
- ・令和 6 年度使用小学校教科用図書採択に係る諮問について
- ・宇陀市部活動地域移行推進協議会設置に関する要綱の制定について
- ・宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
- ・史跡宇陀松山城跡保存整備委員会委員の委嘱について

■6 月定例教育委員会（6 月 28 日）

※審議案件はなし

■8 月臨時教育委員会（8 月 21 日）

- ・令和 6 年度使用小学校教科用図書の採択について

■8 月定例教育委員会（8 月 25 日）

- ・令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について

■9 月定例教育委員会（9 月 29 日）

- ・宇陀市立学校給食センター運営協議会規則の改正について

■10 月定例教育委員会（10 月 25 日）

※審議案件はなし

- 11月定例教育委員会（11月29日）
 - ・宇陀市立学校教職員安全衛生管理規程の制定について
 - ・宇陀市修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の廃止について
 - ・令和5年度宇陀市教育支援委員会の審議結果について
- 12月定例教育委員会（12月27日）
 - ・宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について
- 1月定例教育委員会（1月31日）
 - ・令和6年宇陀市議会第1回（3月）定例会提出議案の意見について
- 2月定例教育委員会（2月28日）
 - ・宇陀市就学援助に関する要綱の一部改正について
 - ・令和6年宇陀市議会第1回（3月）定例会提出議案の意見について
- 3月定例教育委員会（3月27日）
 - ・宇陀市部活動地域移行推進協議会設置要綱の一部改正について
 - ・宇陀市社会教育委員及び宇陀市公民館運営審議会委員の委嘱について
 - ・宇陀市スポーツ推進委員の委嘱について
 - ・宇陀市榛原総合センター自主学习スペース利用規則の制定について

(4) 教育委員会の会議以外の活動

■ 学校訪問

学校長等から、今年度の学校経営の重点項目、教育課程編成上の特色や創意工夫点などについて説明を受け、その後、「学校教育法施行規則」及び「宇陀市立学校の管理運営に関する規則」に基づく次に示す各種表簿を点検しました。

<各種表簿>

学校日誌・出勤簿・旅行命令簿・教育計画書（教育課程）
指導要録・健康診断に関する表簿・薬品管理簿等

学校施設・設備の視察・点検を行い、児童生徒等の学習活動・授業の様子を参観しました。

その後、改善点について意見交換を行うとともに、教育の課題を探り、学校長等に対し指導助言を行いました。

奈良県教育委員会が定める「奈良の学び推進プラン」ならびに「宇陀市学校教育の指導方針」に添った教育がなされているか、教育委員、教育長、

指導主事及び事務局職員により、次に示す観点で実態を調査しました。

＜実態把握の観点＞

県及び市の学校教育に関する方針に添った重点施策
学校の経営方針・教育課程（教育方針と重点指導）
特別支援教育・道徳・人権教育・生徒指導・研究主題
職員研修・児童生徒の安全確保と危機管理・評価の実施と公開
家庭や地域との連携等

令和 5 年度は、5 月から 6 月にかけて、小学校 6 校、中学校 4 校、幼稚園 2 園、こども園 3 園、保育園 2 園を訪問しました。

〈令和 5 年度の学校訪問〉

◇菟田野こども園、菟田野中学校	5 月 18 日
◇榛原北保育園、榛原東小学校	5 月 22 日
◇榛原幼稚園	5 月 24 日
◇榛原小学校、室生小学校、室生中学校	5 月 26 日
◇大宇陀こども園、大宇陀小学校	5 月 29 日
◇しらゆり保育園、榛原西小学校、榛原中学校	5 月 30 日
◇菟田野小学校、大宇陀中学校	6 月 6 日
◇榛原東幼稚園、室生こども園	6 月 7 日

■教育委員・教育長研修等

以下の研修等を通じて、自己研鑽に努めるとともに教育事情調査や教育相談等の日常活動に努めています。

〈令和 5 年度の教育委員・教育長研修等〉

◇奈良県都市教育長協議会

4月19日 (奈良市)

7月19日 (橿原市)

10月18日 (奈良市)

2月27日 (奈良市)

◇市町村教育長・教育委員研究協議会

12月21日 (オンライン)

◇近畿都市教育長協議会定期総会

4月27日 (泉佐野市)

◇近畿都市教育長協議会研究協議会

10月26日 (大阪市)

◇全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会

5月17～19日 (北海道帯広市)

◇近畿市町村教育委員会研修大会

11月7日 (橿原市)

◇奈良県市町村教育委員会連合会会議

5月29日 (大和郡山市)

◇奈良県市町村教育委員会連合会研修大会

11月15日 (高取町)

4 各施策・事業の取組状況と支援員の意見

各施策・事業点検評価シートは、「宇陀市教育大綱」に沿って、項目ごとに主な施策・事業を点検し、評価した結果です。

シート中の「達成度」「必要性」「有効性」とは、教育委員会が次の基準により判断したものです。

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| A | 高い | (概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。) |
| B | やや高い | (ほぼ目標を達成したが、改善の余地がある。) |
| C | やや低い | (目標をあまり達成できなかったので、改善を要する。) |
| D | 低い | (目標を達成できなかった。) |

令和6年度（令和5年度施策・実施事業分）一覧

宇陀市教育大綱に基づく主な施策・事業	自己評価			今後の方針
	達成度	必要性	有効性	
1 社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう				
1 小中学生基礎学力向上事業	B	A	A	2
2 教職員の研修事業	A	A	A	2
3 就学援助事業（就学援助・特別支援教育修学奨励費支給）	A	A	A	2
4 図書館機能充実事業	B	A	A	2
5 宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業	A	A	A	2
6 外国語活動指導助手設置事業	A	A	A	2
7 小中学校情報機器等の活用	B	A	A	3
8 教育支援センター（はばたき教室）運営事業	A	A	A	2
9 プログラミング教育推進事業	B	A	B	2
10 教育支援体制整備事業（支援員及び指導員の配置）	—	A	A	1
11 宇陀市学校適正化推進事業	A	A	A	1
12 読書に親しむ機会の提供事業	B	A	A	2
2 家庭の豊かな教育力を育もう				
13 新学校給食センター建設事業	A	A	A	2
14 学校給食管理運営事業	A	A	A	2
15 教育相談事業	A	A	A	2
16 働く子育て世代の図書館利用の充実事業	B	A	A	2
3 地域全体で子どもを見守ろう				
17 子どもフェスタ事業	A	A	A	2
18 青少年健全育成活動	A	A	A	2
19 子ども活動支援事業	A	A	A	2
4 「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう				
20 通級指導教室運営事業	A	A	A	2
21 市美術展事業	A	A	A	2
22 公民館管理運営事業	A	A	A	2
23 各種講座・教室事業	A	A	A	2
24 社会教育推進講座事業	B	A	A	3
25 宇陀シティマラソン事業	A	A	A	2
26 市民スポーツ大会事業	A	A	A	2
27 近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部	A	A	A	2
28 総合体育館・総合運動場運営事業	A	A	A	2
29 室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	A	A	A	2
30 小学校水泳教室事業	A	A	A	2
31 水泳教室事業	A	A	A	2
32 奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業	A	A	A	2
33 大人のための運動教室事業	A	A	A	2
34 二十歳のつどい事業	A	A	A	2
35 重要伝統的建造物群保存地区保存事業	A	A	A	2
36 文化財保存修理等補助事業	A	A	A	2
37 薬の館管理運営事業	/	/	/	/
38 埋蔵文化財発掘調査事業	A	A	A	2
39 史跡宇陀松山城跡保存整備事業	A	A	A	3
40 国指定天然記念物等保護再生事業	A	A	A	2
41 宇陀三城御城印作製	A	A	A	2
42 宇陀市歴史文化館管理運営事業	A	A	A	2
43 寄贈資料の管理運営事業	B	A	A	2

自己評価 「A」高い「B」やや高い「C」やや低い「D」低い「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可
 今後の方針 「1」さらに重点化する「2」現状のまま継続する「3」見直しの上、継続する「4」事業の縮小・休止を検討する

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	1
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	小中学生基礎学力向上事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	①学ぶ意欲の向上と家庭学習の習慣化及び教職員の資質・能力の向上		
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもの学力や学習状況に関する調査・研究を行うとともに、そこから見える諸課題の改善に向けた事業を行う。また、それら諸課題の改善に向けた取組について、研究校を指定し、その取組を支援するとともに、その成果発表会を行い市内全校への普及を図る。児童生徒の学習意欲、学力、学習習慣の向上を図る。</p> <p>【内容】宇陀市学力・学習状況調査の実施及び結果分析及び宇陀市生活行動・学習活動調査(学習生活アンケート)の実施及び結果分析 市、国の学力・学習状況調査の結果からまとめた「UDAスタンダード」(授業改善・家庭学習の習慣化)の推進及び実践交流 宇陀市研究校を指定し、幼小中の連携を推進</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】授業の項目については年々改善され、UDAスタンダードが定着していると言える。事業を継続して実施する中で、今年度は、小学校国語科の「書くこと」の領域や中学校国語科・数学科の記述式の正答率が改善された。課題改善に向けすべての教科指導の中で「自分の考えを書いたり、交流する活動の徹底」を今年度も引き続き周知することができた。また、こども園・小学校・中学校の研究授業の様子をオンデマンド配信し、校種間の連携の一助となった。</p> <p>【課題】市・国の学力テストにおいては、全国より低い傾向にあった。UDAスタンダード推進委員会で周知した内容を各学校の職員が意識できていない。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可</p>					

点検評価支援員の意見	「UDAスタンダード」に基づき基礎学力の向上が必要である。引き続き低学力の克服には学習習慣を定着させ、達成できない項目の反復学習をすることにより、去年より少しでも向上することを希望する。
	<p>学力テストの点数だけにとらわれず、子どもたちの学習習慣の確立を大事にしていることがうかがえる。やる気(意欲)、忍耐力、協調性、自制心などの「非認知能力」を高めることを大切にされた取組であると思われる。「非認知能力」が高まれば「認知能力」も高まり、その「認知能力」がまた「非認知能力」を高める。そういう意味では、「学習習慣」が「学習意欲」を支えている。「宇陀スタンダード」の浸透、定着を推進していただきたい。</p>

今後の取組	宇陀市学力テスト、全国学力・学習状況調査の結果分析をUDAスタンダード推進委員会において周知する。また、その中で指導改善についての具体例を提示し、各校において課題改善に向けて取組が進められるよう指導する。UDAスタンダードを中心に進めてきた中で、改善してきたことについても周知し、引き続き全ての授業での定着を推進する。	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	2
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教職員の研修事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう
		Ⅲ基本方針	①学ぶ意欲の向上と家庭学習の習慣化及び教職員の資質・能力の向上
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の教育に関わる独自課題、今日的課題の教職員研修を行い、教職員の資質・能力及び指導力の向上を図る。</p> <p>【内容】 宇陀市教育センター研修(9回) 宇陀市初任者研修(2回) 宇陀市特別支援教育コーディネーター研修(3回)</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】研修に参加した教職員の多くが「とても参考になった」とアンケートの中で回答していることから、一定の効果があつたものと考えている。また、昨年度より推進している「アントレプレナーシップ教育」についての研修を3回実施し、知識を深めるとともに、「総合的な学習の時間」への導入等、今後の取組の方向性について共通理解を図った。</p> <p>【課題】令和5年度の研修内容をさらに深めていけるようにするとともに、多様なニーズに応えるマナーや対応力を習得するために接遇研修を行いたいと考える。引き続き、研修内容を精選しながら教職員の負担にならないよう実施していく。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可					

点検評価支援員の意見	多くの研修により教職員の資質や能力の向上に意義ある取り組みである。接遇研修は、教職員のみならず社会人としてのマナーや人に対する接し方に必要事項であると考えている。成果を期待したい。
	アントレプレナーシップは「起業家精神」と訳されるが、「課題に対して新しい解決策を考え、リスクを恐れず立ち向かう精神(いわゆる“起業家的行動能力”）」と考えると、宇陀市の子どもたちには必要な力である。教職員研修の実施にあたっては、宇陀市教育の課題や地域の特色に合わせたものを選んでいられる。有効性については、アンケートの内容だけでなく、効果的な回答の比率や参加率なども検証の材料になるのではないかと。

今後の取組	保護者や地域の方等との良好な関係を構築し、教育環境の質の向上に資するため、接遇の基本的な心構えや知識を身に付けるための接遇研修を12月に実施する。また、研修の有効性については、アンケートの回答内容等を参考に評価していきたい。 研修の開催方法については、教職員の働き方改革に資するため、オンラインでの開催及びオンデマンド配信についてもより一層積極的に取り組んでいきたい。	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	3
------	---

事業の情報	事業名	就学援助事業(就学援助・特別支援教育修学奨励費支給)		担当課	教育総務課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	③健やかな心身と安全な生活を保持増進できる子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】経済的な理由等によって就学に必要な費用の支払が困難な保護者に対し、その一部を援助し、義務教育の円滑な実施に資する。</p> <p>【内容】学用品費、給食費、修学旅行費等、就学に必要な費用の支払が困難な保護者に対し、必要な費用を給付する。対象者は宇陀市内の小中学生及び特別支援学級に在籍する小中学生等である。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度の支給者数は小学校93人、中学校55人、特別支援76人であった。</p> <p>【課題】物価高騰等により、保護者の義務教育に対する経済的負担は増加傾向にある。よって、今後も経済の動向等に合わせた、的確な判定基準を検討していく必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>社会状況により保護者の経済的負担は大きくなっているが、令和6年度2学期からの給食費の無償化など現況に即した施策が行われようとしている。今後も判定基準に則した就学援助をお願いしたい。</p>
	<p>判定基準に応じた支給となるが粛々と進めてほしい。令和5年度から特支奨励費の領収書提出が不要となったと聞いている。景気回復といっても物価はさらに高騰し、経済的な困難を背負う保護者に少しでも寄り添える施策にしていきたい。可能な限りの基準の検討・見直しを願いたい。また、他課との連携も必要になると思うが、ヤングケアラーに対する支援(施策)も検討してほしい。</p>

今後の取組	<p>今後も経済の動向等を考慮した判定基準に応じた支給を行い、就学に必要な費用の支払が困難な保護者への支援を継続していく。</p>		
	方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	4
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	図書館機能充実事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	④夢に向かって粘り強く挑戦し続ける子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】市民の皆様にご「いつでも、どこでも、誰でも」読書を楽しむことができる生涯学習環境をつくることを目指し、読書活動の推進を行う。</p> <p>【内容】子ども読書活動推進計画の内容を受けて、園所・小中学校等との連携強化を図ることにより、子どもたちに図書館の魅力を発信し、図書館機能の充実を図る。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 (令和5年度の利用状況) 利用人数 31,808人 貸出冊数 117,636冊 購入冊数 2,195冊 (電子図書利用状況) ログイン回数 1,636人 貸出冊数 1,759冊 購入冊数 175冊 コロナ対策を行いながらお話し会等を実施し、保育や教育現場の中で本の読み聞かせを行い、子ども達に本に親しむ機会を提供することができた。また、小中学校で使用しているタブレットで電子図書を利用していただくために教育総務課と連携し、小学新入生及び小中転入生に専用のIDとパスワードの発行を行い、朝読等での利用が可能となり、電子図書の利用促進につなげることができた。</p> <p>【課題】全ての市民に身近で親しみやすい図書館としての機能を果たせるよう機能の充実を図るため、関係機関と連携し資料の収集に努める。</p>					
		達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>図書館機能の充実、生涯学習環境を整備する上でも継続していただきたい。今後は、電子書籍の充実が必要と考える。また、書籍の購入に関しては、リクエストされた方の要望に素早く応えるためにも複数購入も検討されてはどうかと考える。</p>
	<p>貸出冊数の伸びを達成度の基準にすると「B」になってしまうが、貸出冊数を伸ばすためには蔵書冊数・新規購入冊数を伸ばすこと、つまり新規購入の予算増大が最優先となる。それも重要であるが、機能充実という点からは、いろいろと工夫できる余地があるように思われる。目的を達成するための活動内容を学校に絞らず、幅広い年代にアプローチした方が良いと思われる。小中学校でのタブレット使用の現状を踏まえると、電子図書館の推進は効果的だと思われる。更なる冊数の充実を望む。</p>

今後の取組	<p>蔵書数保管にはスペースの問題があるが、市民からの要望やニーズに合った図書資料の増冊や電子図書の充実を図るべく予算要求を行うとともに、親しみやすく足を運んで頂ける身近な図書館として工夫改善しながら利用促進につなげる。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	5
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	宇陀市図書館を使った調べる学習コンクール実施事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	④夢に向かって粘り強く挑戦し続ける子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内の小中学校の児童生徒が、「調べる学習」を通じて学校や図書館の資料を活用し、「自らが考え、判断し、課題を解決する力」を育み、また、活動を通じて「必要な情報を集め、有効に活用する力」を養う。</p> <p>【内容】市内の小中学校の児童生徒が、学校・公立図書館の資料や自らが観察、実験するなどして様々な情報を収集、活用し、「調べる学習」を行い、コンクールに応募する。「調べる学習」により主体的に学ぼうとする意欲、知的好奇心を育む。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】小学校の図書室に啓発用パネルの設置や、調べる学習に役立つ図書の展示、また、希望により学習の進め方のオリエンテーションを実施。図書館では、必要な資料探しのサポートを行い、夏休み期間中に昨年度の入賞作品のレプリカ展示コーナーを設けるとともに、調べる学習に役立つ図書の充実を図った。その結果、小学校6校から16作品と中学校1校から10作品の応募があった。厳正なる審査の結果7作品の表彰を行い、上位2作品を全国コンクールに出展し『佳作』に入賞する。自らの疑問について調べることで、主体的に学び、知的好奇心を育むことにより、目標達成に向け、取り組むことができた。</p> <p>【課題】学校と連携し、学校支援業務を活用して、児童生徒に調べる学習の実施方法のレクチャーを行い、応募につなげる。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>中学校からの応募が増えたことは評価できる。今後も「調べる学習」の重要性を広報活動に生かしていただきたい。</p> <p>全国コンクールへの作品応募に特化した事業にしてしまうと、達成度の評価基準が応募数や入賞者数になってしまい、事業としての広がりが期待できない。目的にある「課題解決力」や「情報活用力」の育成を目指すために、“「調べる学習」により主体的に学ぼうとする意欲、知的好奇心を育む”ところを大事にした事業展開を行い、子どもたちの夏休みの自由研究や読書活動へのアドバイスを中心に進めていってはどうか。その結果、コンクールに応募する子どもが出てくれば良いと思う。事業名の変更も含め、検討されてはどうか。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>図書館において、調べる学習に関する「図書コーナー」を設けるとともに、昨年受賞した作品の展示(宇陀市 入賞分・全国 入賞分)を行うなど、当事業に関心を持って頂くための特設コーナーの設置を行い取り組みやすい環境整備に努める。</p> <p>学校との連携を図りながら、図書室に「調べる学習」に関する図書の展示や事例を紹介するなど一人でも多くの児童・生徒が取り組めるよう働きかけていく。</p>	
	方 針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	6
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	外国語活動指導助手設置事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑤情報活用能力を備えた国際感覚豊かな子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】ALTとのコミュニケーションを通して、子どもたちの「伝えたい」という意欲を高め、外国語学習意欲への動機付けをし、英語でコミュニケーションを図る能力の土台を育む。</p> <p>【内容】市内全小学校にALT(外国語指導助手)を配置し、外国語活動の授業でクラス担任と連携し、新学習指導要領におけるチームティーチングを行う。小学5、6年生のクラスに対し年間30回、小学3、4年生のクラスに対して年間15回、小学1、2年生のクラスに対し年間10回ALTを派遣した。(外国語活動及び国際理解に関する教育の補助・外国語教材作成の補助) 幼稚園、こども園、保育園、子育て支援センターに年間各10回訪問し、外国語活動を行った。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】幼少期から継続してALTと直接触れ合うことで、外国語で相手の考えや気持ちを聞いて、考え、推測する力や、外国語を使って自分の考えや気持ちを伝えようとする力、学びに向かう態度の育成につながった。また、夏休みに「English Village～英語村で遊ぼう2023～」を開催し、4か国のALTと英語でコミュニケーションを図りながら、それぞれの文化に触れ、遊びを体験することで外国を身近に感じ、外国語や海外に興味を持つきっかけにつながった。</p> <p>令和4年度に引き続き、小学校外国語科指導者研修を実施し、ALTトレーナーによる模擬授業を教員に体験してもらうなど、教員の指導力向上を図った。</p> <p>【課題】前年度と同様に継続していく。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>子どもたちの将来に英語力の必要性は変わらないと考えられる。幼少期からALTと直接触れ合うことで、言語だけでなく外国の文化や習慣等を学ぶために効果があると思われる。ALTに優秀な人材を希望する。</p>
	<p>将来的に国際的な環境で活動する子どもが多くなったり、国内でも外国人との交流が多くなったりすると予測される社会情勢から見て、英語に触れることにより外国への興味関心を高めることが重要であると考え。ただし、英語だけが外国語でないことも念頭に置いた幅の広い取組が必要であると考え。</p>

今後の取組	<p>引き続き幼小中英語教育の連続性に重点を置きながら、広く国際的な視野に立って物事を考え、行動できる児童生徒を育成するために、子ども達が英語を主とし「親しみ、楽しめる外国語教育」の更なる充実を図る。</p>				
	方針	2			

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	7
担当課	教育総務課

事業の 情報	事業名	小中学校情報機器等の活用			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑤情報活用能力を備えた国際感覚豊かな子どもの育成		
事業の 目的・内容	<p>【目的】情報を収集分析し様々な問題に対処する能力を育み、情報の裏付けや主張の根拠を見極め、客観的な視点から物事を判断する思考を養う。</p> <p>【内容】デジタル教科書・教材の活用を進め、タブレット端末の利用を促す。学習の中で課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析推敲しながらの文書作成や、資料、作品の制作を行う。児童生徒の学びの保障の観点からも、どの家庭でも端末を持ち帰り自宅等での学習できるような環境を整備する。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】タブレット端末、大型提示装置等を活用した授業を行い、授業でもインターネットで集めた情報を活用した学習が可能となった。また端末を用いたアンケート調査等、学習以外においても情報機器の活用が可能になった。</p> <p>【課題】ICT機器の活用頻度については、学校間(教師間)でばらつきがあるため、ICT支援員等の協力を得ながら、更なる活用の充実を進めていく。学校ICT環境においても、今後年次更新計画を作成していく必要がある。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検 評価 支援 員の 意見	<p>デジタル機器の活用には、学校間でばらつきがある。これを克服するために、ICT機器の活用の必要性を理解していただき、年次計画を立て目標に向かって進めていただきたい。</p> <p>将来的に見て、日常生活や仕事上でIT機器を使用しないということは考えられない状況にある。しかし、インターネット上の様々な脅威が指摘・報告されている。それらを防ぐために「使用させない」という選択肢はもはやないように思われる。積極的に活用させ、失敗もあるだろうが、正しいIT活用能力を身に付けさせてほしい。ネットいじめや差別投稿等も問題視されるが、以前から進めている人権教育や生徒指導等の取組もより一層丁寧に行っていただきたい。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の 取組	<p>授業用一人一台端末の更新、校務支援システムの更新を行い、児童生徒ならびに教員のICT環境を整備を更に進めていく。</p> <p>ICT機器の学校間での活用頻度の差に対しては、各校に派遣されている、ICT支援員のサポートを継続し、また利活用に関する研修、啓発を行うことで解消を図っていく。</p> <p>また、インターネット利用に関するリテラシー教育を行うことで、インターネットの利用の危険性を周知させていくと同時に、フィルタリングによる適当なアクセス制限を行いリスク管理を徹底する。</p>
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	8
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教育支援センター(はばたき教室)運営事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう
		Ⅲ基本方針	⑥いじめや不登校等に対する支援の充実
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市内小中学校の不登校児童生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。</p> <p>【内容】個々の状況に応じた適切な指導や相談に応じるとともに、学習機会を確保する。また、子どもの不登校に悩んでいる保護者や教職員に対しての相談業務も行う。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度当初は3名の通室生徒でスタートしたが、学校との連携により、令和6年3月には在籍者数が7名となり、うち中学3年生4名全員を高校へ繋ぐことができた。また、コロナ禍で中止していた卒業生との交流会を復活し、社会で活躍する卒業生と現役生が交流することができた。</p> <p>【課題】令和6年度に宇陀市子ども居場所支援事業「つどい」が開設し、それに伴い「はばたき」教室が同施設内に移転することから、関係機関との連携を一層強化し、市内の不登校児童生徒を取り残すことがないよう、本事業の啓発を図る必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可</p>					

点検評価支援員の意見	<p>児童、生徒が不登校になる原因はそれぞれに違いがある。令和6年度から居場所支援事業が開設され、関係機関との連絡を密にし、啓発に力を注ぎ工夫をこらして不登校児童生徒の取り残しがなくなるように切望する。</p> <p>実際に不登校に陥っている子どもは「はばたき教室」に来られる子どもの10倍以上になり、家から出られない子どもが多いことが分かる。不登校に対する社会全体のマイナスイメージが家庭外への支援の求めにくさに繋がっているのではないかと考える。不登校は誰にでも起こりうるということを社会全体が共通認識し、支援の取組が進むよう、相談活動も含めた現在の事業を丁寧に継続していただきたい。また、居場所支援事業との連携も模索していただき、様々な取組が進むことを願う。</p>
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>不登校児童生徒が、家の事情等で通室できないなど、学習の機会を失うことのないよう、子ども居場所支援事業「つどい」と情報共有し、連携を強化する。その上で、個に応じた指導をし、通室する児童生徒の社会的自立と、必要に応じて在籍校への復帰を促すように取り組む。</p>		
		方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	9
担当課	教育総務課

事業の 情報	事業名	プログラミング教育推進事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の 目的・内容	<p>【目的】平成29年3月に告示された新学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられたことにより、「プログラミング的思考」を育成する。</p> <p>【内容】教育委員会で整備したプログラミング関連教材の活用を推進する。ICT活用に関する知識と実践力を有し、市をリードしていく教員を育成する。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】本事業で教材を揃え、各小学校での活用を実施している。プログラミング教育について年間計画を作成し、小学校の教育課程に位置付けて実施する体制が整った。各小学校においてプログラミング教育が円滑に取り組まれている。また、タブレット端末を活用したプログラミング教材や中学校技術科におけるプログラミングソフトのトライアルに1校が参加し取組を進めることができた。</p> <p>【課題】教員の指導力の向上を図るための取組を行う必要がある。中学校のプログラミング教育についての取組の推進を図る。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可</p>					

点検 評価 支援員 の 意見	<p>各学校に教材が備えられており初期の目的が達成されている。プログラミング教育の向上には、継続的な研修機会が必要と思われる。</p> <p>プログラミング的思考というのは論理的思考の一部であるが、思考錯誤や想像力、創造力、問題解決力など多くのものを含んでいる。コンピュータ自体がプログラミング思考で動くので、プログラミングで学ぶことが有効だとされているが、実際には授業時間の確保や体系化には課題が残ると思われる。市教委が準備した教材を入り口にして取組を進めていただきたい。</p>
	<p>市で導入しているプログラミング教材の活用方法や授業案等についてオンデマンド視聴の研修会を実施し、教員の指導力向上を図ることで、より積極的な活用を推進していく。中学校においても本年度のプログラミングソフトのトライアル結果をもとに来年度に向けての計画を検討する。また、市で購入してきた教材について計画的に修理・購入していきたい。</p>

今後の 取組	<p>市で導入しているプログラミング教材の活用方法や授業案等についてオンデマンド視聴の研修会を実施し、教員の指導力向上を図ることで、より積極的な活用を推進していく。中学校においても本年度のプログラミングソフトのトライアル結果をもとに来年度に向けての計画を検討する。また、市で購入してきた教材について計画的に修理・購入していきたい。</p>		
	方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

		事業番号	10			
事業の 情報	事業名	教育支援体制整備事業(支援員及び指導員の配置)			担当課	教育総務課
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう			
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実			
事業の 目的・内容	<p>【目的】少人数に分けた学習指導や、学習の定着が不十分な児童に対しきめ細やかな学習指導を行うための人員配置及び教員が児童生徒への指導や教材研究等に一層注力できるよう、教員の業務を支援する人材を配置することで、教員の業務負担軽減を図る。</p> <p>【内容】希望のあった小学校に学習指導員を配置するとともに、市内の全ての小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置する。</p>					

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度は、人員配置に係る人件費の予算化ができなかったため事業が実施できなかったが、令和6年度については予算化ができ、各校に人員の配置ができた。</p> <p>【課題】配置した人員の業務を明確し、確実に教員の業務負担を軽減できる体制を各学校で確立する必要がある。</p>				
		達成度	—	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「—」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価 支援員の 意見	<p>教員の負担軽減に寄与することができる事業であり、働き方改革により就業を希望する人の柔軟な人員配置をお願いしたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対応するための教育活動支援として始まった事業だがコロナ対策が少し和らいでも学校には対応しなければならない問題が多くあるということを物語っている。以前からの学習支援員だけでは対応しきれない業務や環境整備などに活躍していただけることは言うまでもなく、今後も継続願いたい。</p>
--------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の 取組	<p>令和6年度配置による教職員の働き方の実態を考察し、今後も配置人員、配置時間を充実させることで、更に教員の業務負担の軽減を目指していきたい。</p>	方針	1
-----------	------------------------------------------------------------------------------	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	11
担当課	教育総務課

事業の 情報	事業名	宇陀市学校適正化推進事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の 目的・内容	<p>【目的】宇陀市学校適正化基本方針に基づき、小中学校の適正化を具体的に推進し、子どもたちがたくましく生きる力を育むための教育環境整備に取り組む。</p> <p>【内容】小中学校の適正化を具体的に推進する「宇陀市立学校適正化基本計画」を策定するため、「宇陀市学校適正化推進委員会」を設置し、小中学校の適正化及び教育内容の充実に関することについて2年間(令和4年1月から)かけて審議する。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度は、「宇陀市学校適正化推進委員会」を4回開催し、12月に開催した宇陀市学校適正化推進委員会終了後に、推進委員会から諮問に対する答申が示された。また、答申を受けて庁内会議を開催し、今後のスケジュール等について検討することができた。</p> <p>【課題】「宇陀市学校適正化基本計画」の令和6年度中の策定に向け、推進委員会からの答申を十分に反映できるように、庁内での会議等を円滑に運営していくことが必要である。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価 支援員の 意見	宇陀市学校適正化推進委員会からの答申を尊重し、基本計画策定に尽力していただきたい。
	令和3年度の検討委員会では学級数や人数を基準に進めてきたが、令和5年度の推進委員会では、地域性を考慮した答申となった。市教委としては、「答申」に基づき「基本計画」を策定し、粛々と進めていくこととなる。今後は、地域の特色を生かした学校づくりに向け、全力を結集し臨むことを願う。

今後の 取組	宇陀市学校適正化推進委員会の答申に基づき、宇陀市の子どもたちが、最適な教育環境の下で学校生活を送ることができるように、小中学校の規模・配置の適正化や特色ある教育を推進することを旨として、学校適正化基本計画の策定に努めていきたい。
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	12
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	読書に親しむ機会の提供事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	①社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう		
		Ⅲ基本方針	⑦時代の変化に対応した最適な教育環境の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】市民の生涯学習・情報発信の拠点として、資料の収集及び提供に努め、市民サービスの向上を図る。</p> <p>【内容】インターネット及び電話による図書貸出の予約を受け、大字陀・菟田野・室生の公民館への配送サービス(受取場所の設置)及び各地域に設置している返却ポストの図書回収を行う。また、大字陀図書館や、園所・小中学校等への団体貸出の回送を行う。(回収・回送業務については、シルバー人材センターへの委託により実施)</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】図書の返却ポスト及び受取場所の設置は、利用者の利便性の向上に必要であり、広報を通じて周知を行った。ポストの利用率は前年度から6.35%増加。公民館での受取利用と園所・小学校等への団体貸出は増加となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度返却ポスト利用冊数 13,104冊(前年度6.35%増) ・ // 団体貸出利用冊数 16,630冊(市内学校園所分9,566冊) ※前年度 団体貸出利用冊数 16,366冊(市内学校園所分9,502冊) <p>【課題】各学校から団体貸出しの要望が増えてきているが、児童書の数に限りがある為図書館利用者との兼ね合いで貸出冊数や期間についての検討が必要である。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>学校からの団体貸し出しが増加したことは良いことだが、逆に学校の蔵書が十分でないことが考えられる。図書館、学校の蔵書の充実を望むところである。</p> <p>事業名を一新し、取組を再構築しようという意気込みは感じるが、内容は以前のまのように思われる。返却ポストやインターネット予約の利便性は高いが、課題は本の冊数や新刊本の有無、自分の興味・関心のある本の存在など多々あると思われる。「我が町の図書館」という意識で市民に利用してもらえる取組を工夫し、周知していくことが必要だと思われる。周知には手間や時間がかかるが、地道に続けてほしい。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>市民の方々に読書の機会を提供できるよう、図書館だよりや広報媒体を通じて情報発信を行い、利用者サービスの向上に努める。</p> <p>図書館から離れたところにお住まいの方に各地域の公民館で受け取れる配送サービスについて広報紙やホームページ等によりPRし周知に努める。</p>	方針	2
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	13
担当課	学校給食センター

事業の情報	事業名	新学校給食センター建設事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	⑩自他の命を大切にする 思いやりの心をもった子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもたちに「安全で安心なおいしい給食」を安定して提供するために、衛生管理の整った施設を確保する。</p> <p>【内容】既存の学校給食センターは、昭和50年築(47年経過)となり、老朽化が進んでいる。そのため、新しい学校給食センターを建設する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和4年度に工事着手した建設工事は施工業者により予定工程どおりの進捗である。また、新センター運営について、現在直営で実施している調理、食器洗浄、施設の清掃及び消毒業務の委託は、令和5年9月議会の予算承認を経て、令和6年2月プロポーザルにより業者決定した。</p> <p>また、職場配置転換となる職員への丁寧な説明、意向の聞き取りをおこない、人事課と調整対応をした。</p> <p>【課題】建設工事は令和6年6月末の竣工に向け、現場内外の安全第一による作業遂行へ注意喚起が必要である。また、業務委託決定し、令和6年2学期からのスムーズな移行準備に向けての打合せが必要である。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>無事に事故なく計画通り竣工できたことは評価できる。新しいセンターに見学スペースを設けられた点に関しては、見学等に対応できる目新しい点である。今後、調理、洗浄が業者委託となるため職員との連携を密にしてスムーズな運営を希望する。</p> <p>建設工事も計画通りに完了し、令和6年度2学期からの本稼働に向け準備中であるとのことである。施設・設備が新しくなり、安全・安心な給食の提供を保証することは当然であるが、これまでの給食センターに寄せられた保護者や住民の信頼を引き継ぎ、今後も美味しい給食の提供が出来るよう、委託業者との密な連携や指導を期待したい。併せて、現職員の配置転換後の業務が本人の希望や実績に沿ったものになるよう努めていただきたい。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>建設工事は令和6年6月末の竣工に向け、現場内外の安全第一による作業遂行に対しての注意喚起が必要である。</p> <p>業務委託が決定し、令和6年2学期からのスムーズな移行準備に向けての打合せが必要である。</p>	方針	2
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	14
担当課	学校給食センター

事業の情報	事業名	学校給食管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	⑩自他の命を大切にする 思いやりの心をもった子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】子どもたちに「安全で安心なおいしい給食」を提供すること、学校や園と連携して「食育」活動をおこなう。</p> <p>【内容】衛生管理等の徹底により「食中毒」「感染症」「異物混入」の事故を防止する。食物アレルギー対応は小中学校及び幼稚園と連携を図りながら、園児、児童生徒、保護者が安心できるような対応をする。</p> <p>学校給食地産地消促進事業として数値目標を掲げ、市の予算措置により賄材料の地産地消を推進する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】「食中毒」「感染症」「異物混入」の事故発生なし。アレルギー対応は、献立の成分内容(アレルギー)の明確化により、アレルギー除去食対応をした。(内容について、保護者及び学校に情報提供を行う。)</p> <p>学校園からの施設見学の受け入れ、4年振りの試食会、栄養士による学校への出前授業、栄養士と調理職員の学校訪問を実施した。また、地産地消を推進するため、地場産物(市内・県内産)を積極的に購入した。</p> <p>学校給食地産地消率(市内産野菜・きのこ類の重量比率)H27(基準値)10.5%⇒R1に(目標値)20.0%から35.0%に変更 R5(実績値)34.41%</p> <p>【課題】市内生産者による新鮮な食材、またオーガニック野菜をはじめとした安全な食材を子どもたちに提供するために、地場産物の収穫時期に合わせた献立立案が必要である。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>衛生面での事故がなかったことは評価できる。地産地消は、ある程度必要であるが、新しいメニューの提供等の妨げにならないことを希望する。引き続き徹底した衛生管理のもと安心、安全な給食を提供していただきたい。</p> <p>給食を原因とする「食中毒」や「感染症」は重大事故で、市内はもちろん県内でも小・中学校の給食センターでの発生は皆無で、今後も絶対に起こしてはならない。しかし、「異物混入」は注意していても起こりうることもあり、市内でも度々発生していた。今年度も、老朽化した現行施設で「発生なし」を続けた努力は素晴らしい。また、宇陀市のアレルギー対応は早期に導入され、その実績も保護者等から信頼されている。新施設・職員となっても必ずこの経験を引き継ぎ、安心安全な給食づくりを継続してほしい。そのためには、本稼働までの入念な準備・シミュレーションをお願いしたい。また、地産地消についても現行の数値目標が維持できるよう努力いただきたい。</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>1学期は引き続き現センターで安全衛生管理を徹底し、安全で安心な給食提供をする。2学期以降は新施設・新体制となることから、業務委託事業者と連携して安全衛生管理を互いの目線から指摘することにより、引き続き安全で安心なおいしい給食づくりを行う。</p> <p>地場産物の収穫時期に合わせた献立立案を行う。</p>	方針	2
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	15
担当課	教育総務課

事業の情報	事業名	教育相談事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう		
		Ⅲ基本方針	①親の子育てを支援する相談体制の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内各学校・幼稚園・こども園・保育園の教員、子ども、保護者からの相談に応じ、学校や家庭の枠組みを超えた子どもへの関わりや指導について助言することを通して、課題解消を図る。</p> <p>【内容】臨床心理士による教育相談であり、必要に応じて子どもの発達検査を行い、保護者にフィードバックし、子どもの個に応じた指導を行っている。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度において、相談件数290件、発達検査実施件数60件であった。発達検査を行っていることや、就学前から専門の相談員に助言を得ることができることから、保護者、学校と連携して適切な就学へ結び付けることができた。年度中に専門の相談員を1名増員し、相談員の負担軽減だけでなく、令和6年度の場所移転に向けて、利用者が相談しやすい環境整備を行った。</p> <p>【課題】令和6年度は教育支援センター「はばたき」教室と共に場所を移転するため、関係機関との一層の連携を図り、本事業の啓発を行う必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可</p>					

点検評価支援員の意見	<p>令和5年度の相談件数をみても臨床心理士の大きな負担を感じる。今後相談場所の移転により関係機関との連携が重要となる。引き続き臨床心理士の確保をお願いしたい。</p> <p>子どもの発達や子育てに関する親の悩みに寄り添うことは、未来の宇陀市(日本)を担う人材育成という観点からも非常に重要なことである。必要性や有効性も高いと思うが、相談や検査の結果からどのような支援が必要となるのか、そのような支援が宇陀市で行えるのかといった一連の流れも同時に充実させてきたことも評価できる。「宇陀市で子育てしたい。」という声が多く聞かれるようになっていくよう、尽力願いたい。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>教育相談は専門的知識と経験が必要であるため、引き続き臨床心理士の確保に努め、保護者のニーズに答えることのできるよう相談業務の充実を図る。</p>		
<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>		方針	2
方針	2		

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	16
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	働く子育て世代の図書館利用の充実事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	②家庭の豊かな教育力を育もう
		Ⅲ基本方針	②就学前教育の充実と親の子育てや学びを支える環境づくり
事業の目的・内容	<p>【目的】働く子育て世代と子ども達の図書館利用の充実を図る。</p> <p>【内容】中央図書館において祝日開館を前年度に引き続き6日間実施する。また、図書館フェスティバルにおいては、絵本作家による「絵本ライブ」を実施し、映画会などの開催により親子が共に過ごせるレクリエーションの場を創出する。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】祝日開館は前年度同様に6日間の予定であったが2月の特別開館は、総合センター改修工事に伴い実施できなかった。5日間の利用実績は9月以外土・日の平均利用者数より少ない結果であったが、前年度の特別開館時の利用数からは8月以外増となった。毎月、館内のお話会と園所等でのお話会を行い、夏休み映画会や絵本ライブ(募集60名=申込71名・参加者54名)もコロナ対策を行いながら実施することができた。</p> <p>【課題】祝日開館は、利用者が少なかったものの利用者のアンケート結果で「今年度の日数で良い」との意見が多く、利用者のニーズとして利便性を考慮し、令和6年度以降については、中央図書館のみ6日間の祝日を「特別開館」という名称で実施する。</p>				
	達成度	B	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>祝日開館とイベントを組み合わせる試みは、以後、来館者に親しみをもってもらえる良い取り組みと考える。働き方改革により今後利用者の状況も変わることが考えられるため注視していただきたい。</p> <p>祝日開館は、日曜開館とともに働く子育て世代にとっては助かると思うし、子育て世代全体にとっても有効な取組であると思う。開館に併せて、映画会や絵本ライブなどを実施することで、行楽などに出かけるより図書館へ行くのが楽しいという子どもが増えることを願う。ポスターやチラシ、広報、うだちゃん等を活用した情報発信を今後も地道に継続していただきたい。</p>
	<p>祝日の「特別開館」については、図書館だよりや広報紙、自主放送等で周知し、開館に併せミニイベントを行うなど、親子が共に過ごせる場の提供と働く子育て世代を応援し、図書館利用のきっかけ作りと読書に親しむ機会を提供する。</p>

今後の取組	<p>祝日の「特別開館」については、図書館だよりや広報紙、自主放送等で周知し、開館に併せミニイベントを行うなど、親子が共に過ごせる場の提供と働く子育て世代を応援し、図書館利用のきっかけ作りと読書に親しむ機会を提供する。</p>	
	方 針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

			事業番号	17	
事業の情報	事業名	子どもフェスタ事業		担当課	生涯学習課
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑭主体的に地域に参画する子どもの育成		
事業の目的・内容	<p>【目的】様々な遊び体験を通じて、仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、チャレンジして達成感を味わい、豊かな感性を育むことにより、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成を図る。</p> <p>【内容】宇陀市総合体育館内及び体育館前敷地を使い、昔ながらの遊び(紙ひこうき、ぞうきんかけ競争、空き缶積み、水てっぼう、しゃぼん玉等)、スポーツ体験会を催し、仲間づくり及び参加者の交流を図る。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】第12回(令和2年)から第14回(令和4年)の3回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。今回、第15回(令和5年)は、4年ぶりの開催となり、前回の第11回(令和元年)に実施してから、事務局及び実行委員会の構成団体の役員改選もあったことで、組織づくりに不安があったが、実行委員会が一丸となって準備を進め、盛大に開催することが出来た。</p> <p>【課題】暑い時期の開催のため、屋外ブースだけでなく屋内のブースであっても熱中症の心配がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>令和5年度は、4年ぶりの開催ということでスタッフやボランティアの人員も入れ替わった中事故なく開催できたことは評価できる。今後も子供たちの健全育成のため工夫を凝らし、暑い時期の開催ということもあり、熱中症対策には万全の対策で事故なく開催していただきたい。</p> <p>4年ぶりの開催で、役員の交代もあり、組織作りや準備・運営面で不安もあったと思うが、前回(令和元年)に迫る参加者を得て、盛大に開催されたことは大きな成果である。事務局が連絡調整や準備・後片付け等の裏方業務をこなしてくれるおかげで、実行委員会の構成団体やスタッフがその力や個性を発揮することができ、開催後の会議で、スタッフ同士の連帯感や達成感の高まりも報告されたと聞く。今後も継続していくにあたり、熱中症対策や事故防止や対応等の安全管理や緊急対応への準備の再点検もお願いしたい。</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>事務局としても、子どもたちにとって様々な遊び、昔ながらの遊びを通してチャレンジすることは貴重なことと考える。継続事業ということで、マンネリ化にならないように新鮮な気持ちで実施できるように実行委員会を進める。</p> <p>ご意見にもあるように、ケガや事故が発生しないように安全管理をするとともに、緊急時の対応について実行委員会で再度協議していく。また、特に暑い時期の開催となることから、熱中症対策については十分注意する。</p>	方針	2
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	18
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	青少年健全育成活動			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑤地域のネットワークを活用した見守り体制の強化		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市青少年健全育成協議会及び宇陀市青少年指導員連絡協議会を設置し、青少年の健全な育成のための活動を行う。</p> <p>【内容】青少年の社会参加活動の推進、健全な環境づくりと非行防止活動の推進等に取り組む。(イベント開催協力、街頭啓発活動、県との合同立入調査・巡回啓発指導活動、関係研修会参加等)</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】11月1日に市内の中高生が考えた標語作品を掲載したティッシュを市内5カ所にて配布し、健全育成の啓発活動を実施した。県及び警察と合同で市内コンビニエンスストア等を巡回し、有害図書の販売指導、青少年の非行・被害防止の協力をお願いした。</p> <p>【課題】青少年の多くが所有するスマートフォンであるが、スマートフォンを持つということは犯罪に巻き込まれるリスクがあるということを自覚すること、犯罪に巻き込まれないようにすることを、関係機関と協力して啓発する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可</p>					

点検評価支援員の意見	<p>青少年健全育成は、地域の多くの人の協力のもとで活動する事業である。今までの取り組みに加え、新たにスマートフォンの普及により正しい使い方等の啓発には、よりいっそう関係機関との連携が重要である。</p> <p>地道な活動を続けてくださる方々のネットワークづくりや予算的な支援を丁寧に行う事務局の取組があるからこそ、これらの活動の効果が発揮されると思うので、これからもしっかりと継続してほしい。市内の中高生が作った標語入りポケットティッシュの配布も継続することで効果があると思う。</p>
	<p>犯罪に巻き込まれたり、犯罪に加担しない青少年を育てていくためには、周囲の者が青少年に関わって見守っていくことが大切である。目に見える非行・犯罪やいじめよりもスマートフォンやパソコンを通じた犯罪やいじめの問題が増えて来ているが、子どもたちにスマートフォン等を持たせないことは考えられない状況なので、スマートフォン等を誤った使い方をしない働きかけが大切になると考える。県、学校と連携した取組を進める。</p> <p>また、この青少年健全育成協議会の活動を通じて、子どもたちに関わる大人が増えていくような活動を進める。</p>

今後の取組	<p>犯罪に巻き込まれたり、犯罪に加担しない青少年を育てていくためには、周囲の者が青少年に関わって見守っていくことが大切である。目に見える非行・犯罪やいじめよりもスマートフォンやパソコンを通じた犯罪やいじめの問題が増えて来ているが、子どもたちにスマートフォン等を持たせないことは考えられない状況なので、スマートフォン等を誤った使い方をしない働きかけが大切になると考える。県、学校と連携した取組を進める。</p> <p>また、この青少年健全育成協議会の活動を通じて、子どもたちに関わる大人が増えていくような活動を進める。</p>		
	方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	19
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	子ども活動支援事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	③地域全体で子どもを見守ろう		
		Ⅲ基本方針	⑰保護者や地域と共にある学校づくりの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】地域社会力を活かし、地域ぐるみで各小中学校をサポートするボランティア活動を支援する。(学校・地域パートナーシップ事業)</p> <p>【内容】子どもたちが安全で安心な学校生活が送れるよう環境を整える。(学習補助、体験学習、登下校の見守り等)</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】小学校6校、中学校4校の宇陀市内の小中学校全校において、それぞれの学校の特色、地域の実情を活かした取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域学校協働活動事業：登下校安全指導、学校内環境整備(美化活動) ○放課後子ども教室：平和学習、文化体験、工作教室等 ○学習補助(地域未来塾)：ボランティアによる学習支援(放課後、夏休み) <p>【課題】地域の人材確保に苦慮している学校がある。各学校事業内容の啓発に努め地域から新規人材を確保する。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可</p>					

点検評価支援員の意見	<p>地域ぐるみで児童生徒をサポートするボランティアの発掘には、学校、PTAをはじめ多くの団体との連携が必要であり、地域の実情に応じた取組を更に充実させていただきたい。</p> <p>子どもたちの様々な活動に対して支援してくれる方々の活動に対して予算的な支援をすることで活動が充実したり効果が上がったりすると思われるため、必要性の高い事業である。地域人材は学校やそれを取り巻く組織や団体が中心となって発掘・確保していくことが望ましいが、同じ人に仕事が重ならないようにしていくためには、市教委等の支援も重要である。</p>
	<p>この事業を通して、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが安心して活動できるように支援する。</p> <p>事業主体が各学校であるため、活動内容もそれぞれ特色があり、活動量も色々である。活動量が少ない学校も見受けられるので、地域の団体の協力を得ることができるよう学校と地域との連絡調整等の支援していく。</p>

今後の取組		
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	20
担当課	教育総務課

事業の 情報	事業名	通級指導教室運営事業			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑨一人一人の違いを尊重するインクルーシブ教育の推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】小中学校の通常学級に在籍しているが、言語障害や学習障害、ADHD等により学習面や生活面で困難のある児童生徒が、自立した学校生活や社会生活を送れるようにすることを目的とする。</p> <p>【内容】担任以外の専門指導教員が個に応じた指導を行う。また、保護者、教職員、児童生徒に対しても相談業務を行う。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度は新たに榛原東小学校に「ほほえみ教室」を設置し、榛原小学校「ほほえみ教室」、榛原中学校「ひだまり教室」と併せて3教室となり、小学生77名、中学生43名が通級指導を受けた。また、児童生徒の在籍校で通級指導が受けられるよう、各学校を指導員が巡回指導をすることにより保護者の送迎の負担がなくなっている。</p> <p>【課題】通級指導を受ける児童生徒数の増加に伴い、引き続き県費の指導教員の増員要望と指導者の専門性の確保及び、教室の増設が必要である。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性
	<p>※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可</p>					

点検評価 支援員の 意見	<p>通級指導を受ける児童生徒が増加するのに伴い新たに指導教室を設置されることは、喜ばしいことである。引き続き指導教員の確保とスキルアップをお願いしたい。</p> <p>小・中学校に通級教室が開設され連携した指導が出来るようになり、小学校でつけた力に応じた支援が中学校でも出来るようになった。さらに、令和5年度には小学校で1学級増設され、支援の幅が広がったのは素晴らしいことである。今後ますます増加するであろう対象児童の支援に対応できるよう、更なる教室の増設や指導にあたる教員の増員を県に働きかけるとともに、市としても独自の支援員等の増員や設備の充実に尽力していただきたい。</p>
	<p>増加する対象児童生徒の支援に対応するため、小学校で新たにもう一校の開室を目指す。それに伴い、引き続き指導者の育成及び県費の指導教員の増員要望を行い、通級指導教室の更なる充実を図る。</p>

今後の 取組		
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	21
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	市美術展事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】美術を愛する市民の創作活動の成果を発表できる場所を提供し、入賞を目標としてもらい、創作意欲の向上につなげる。</p> <p>【内容】4部門(絵画の部、書芸の部、写真の部、彫塑工芸の部)にて募集した。今回、新たな試みとして、「スマホフォトコンテスト」を実施し、広く普及しているスマートフォンで撮影した写真の応募を受け付け、展示を行った。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】11月9日～11月11日の4日間、市文化会館で開催し、応募作品数120点、約620人の観覧があった。スマホフォトコンテストは48点の応募があった。</p> <p>応募作品とは別に、文化会館・公民館活動作品、園児の作品、中学校書道部の作品、図書館を使った調べる学習コンクールの作品を展示、入賞者の表彰式を行った。</p> <p>会場に来ることが出来なかった方のために、自主放送うだチャンネル11「ホットニュース」で放送。</p> <p>【課題】展示する作品と作品の間隔等を取るにも、展示スペースに限りがあるため、毎回展示方法を工夫しながらの展示となっている。担当が変更になっても展示方法に大差が出ないようなルール作りが必要と考える。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>美術展への作品の応募が固定化になりつつになる中スマートフォンによるフォトコンテストは、多くの市民に市美術展のアピールに効果的だった。幼稚園や学校からの作品展示も美術に興味をもっていただくために必要であると思うが、一般応募作品を第一とする展示に心掛けていただきたい。</p> <p>市の美術展の目的は、作品を制作し応募する側の人たちのためだけでなく、それを鑑賞して楽しむ側の人たちのためでもある。様々なコンクールと協働して展示していることや、スマホフォトコンテストのように参加者の間口を広げようとする取組も工夫がされており評価できる。</p>
	<p>市美術展は、市民の文化・芸術活動の貴重な場であり、現在出展いただいている方が引き続き出展したいと思う市美術展であり続けることができるように「丁寧な」展覧会を心がけていきたい。併せて、はじめて出展される方が、気軽に出展できるように引き続き「スマホフォトコンテスト」を開催していく。</p> <p>また、ご意見にもあるように「市美術展覧会」が主であることを表面に出して、幼児、学校の作品展示、文化会館、公民館作品展は同時開催と位置付けていることを留意する。</p>

今後の取組	<p>市美術展は、市民の文化・芸術活動の貴重な場であり、現在出展いただいている方が引き続き出展したいと思う市美術展であり続けることができるように「丁寧な」展覧会を心がけていきたい。併せて、はじめて出展される方が、気軽に出展できるように引き続き「スマホフォトコンテスト」を開催していく。</p> <p>また、ご意見にもあるように「市美術展覧会」が主であることを表面に出して、幼児、学校の作品展示、文化会館、公民館作品展は同時開催と位置付けていることを留意する。</p>
	方針

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	22
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	公民館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市民一人一人が、心豊かに健康で生きがいのある人生を過ごすために、生涯にわたって主体的に学習を継続することが求められていることを踏まえ、生きる喜びを分かち合える公民館管理運営の構築を目指す。また、地域課題や市民のニーズに即した学習機会の提供を図るとともに、地域に根ざした公民館活動を推進する。</p> <p>【内容】身近な学習や文化活動が、誰でも気軽に活動できるような環境整備に努める。また、文化的活動の機会や地域住民と公民館活動をつなぐ情報提供に努めるとともに、各種団体と協力・連携し地域の教育・文化の振興を図る拠点とする。自主グループの育成を推進し、各分館の施設利用率の増加を図る。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】公民館講座で人気のふるさと歴史講座をうだチャン公民館講座として放映することができた。公民館に来たくても来れない市民のために、今後も続けて実施したい。令和5年度公民館まつりを開催することができた。公民館活動自主グループの日頃の成果発表は、市民に対して広く活動内容をPRすることができ、グループ同士の交流の機会となっているので今後も開催していきたい。</p> <p>【課題】市民がいつでもどこでも誰でも学べる機会と場の提供のため、公民館の必要性は高く、さらなる施設の環境整備に努める。今後も公民館まつりの開催や、うだチャン公民館講座を関係者と連携し実施する。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>コロナ禍の後、公民館まつりを開催できたことは関係者の努力によるものであり、評価すべき点である。学ぶ意欲のある人の要望に応えられるように、各種団体との連携や協力を図り地域の教育、文化の向上のため創意工夫をお願いしたい。</p>
	<p>人気講座のテレビ放送(うだチャン)や「公民館まつり」の開催など、公民館活動の成果を地域住民に発表したり広報したりすることにより、住民の公民館活動に対する関心や活動意欲の高まりが期待できると思われる。地域の特性に応じた40以上の自主活動グループがあることや活動回数(利用総数)が1,000回を超えていることなども高く評価できる。</p>

今後の取組	<p>令和6年度も11月23日に公民館まつりを開催予定である。公民館活動自主グループによる活動発表や展示のほかに、自主グループによる体験教室や子どもたちが喜ぶ各種ふるまひも予定している。</p> <p>外出するのが難しい市民のために、令和6年度もうだチャン公民館講座を実施する予定である。市民のニーズ等も勘案の上講座内容を検討していきたい。</p> <p>「公民館まつり」の開催、「うだチャン公民館講座」の実施を通して、引き続き市民に対して広く公民館活動をPRしていきたい。</p>
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	23
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	各種講座・教室事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】社会教育法に基づき、市民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種の講座・教室を行い、市民の教養向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>【内容】市民のニーズに合った講座・教室の充実を図り、自主グループ・リーダーの養成とまちづくり・まちおこしなど地域社会参加の促進を図る。「定期講座」は各分館にて開催し、初歩から応用までを学習する。「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」については、中央公民館・各分館を会場とし、知識の向上、趣味の輪の拡大、健康の保持や生きがいづくりを目指した講座・教室を開設する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】講座参加延べ人数 令和5年度：1170名、令和4年度：1203名、令和3年度：1276名と利用率は4公民館とも概ね前年並みである。「定期講座」、「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」いずれもほぼ例年通りの受講率であった。</p> <p>【課題】今後も関係部局と協力して、幅広い年齢の人たちに親んでもらえるような、又、より多くの人たちに受講してもらえるような講座・教室を考えて、市民に提供していきたい。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>各種講座の運営については、関係部局と協力して各講座におけるリーダーを養成することが出来れば大きな成果となる。今後も市民のニーズに応えられる講座の開設をお願いしたい。</p> <p>単発的な講座や定期開催的な講座などの開催方法や講座内容の工夫などにより、地域住民から人気が高く定員オーバーになる講座もあるということで、職員の企画・運営に対する努力を高く評価したい。講座参加者の感想や意見を次回の企画に生かしたり、必要ならば講師として弁護士に依頼するなど、参加者に寄り添った取組も素晴らしい。</p>
	<p>各種講座の運営、とりわけ「定期講座」については、それぞれの内容や受講者の雰囲気なども考慮して、1つでも多く自主グループ活動へ移行(リーダーの養成)できるよう努力したい。</p> <p>単発的な講座についても、それぞれの内容や受講者の雰囲気なども考慮して、令和7年度以降に「定期講座」へ移行できるものがあるかどうかを検証していきたい。</p>

今後の取組		
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	24
担当課	中央公民館

事業の情報	事業名	社会教育推進講座事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	⑳市民や地域社会のニーズに応じた学習機会の充実		
事業の目的・内容	<p>【目的】社会教育の推進及び公民館と地域のつながりを深めるため、市内各地域のまちづくり協議会が事業を実施し、地域の課題に取り組むとともに、地域の活性化につなげる。</p> <p>【内容】地域の課題を解決するために開催する講座や、研修会等に講師の紹介あるいは講師を派遣し、予算の範囲内において講師派遣の費用を支援する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 令和5年度実績 5団体10事業 延べ人数318名参加。 令和4年度実績 2団体4事業 延べ人数431名参加。 令和3年度実績 1団体2事業 延べ人数30名参加。</p> <p>【課題】令和5年度は5団体10事業であった。令和6年度も全まちづくり協議会を支援できるよう予算を確保したため、まちづくり協議会の事業実施に向けて支援していく。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>社会教育の推進には、地域との連携、協力が必要である。まちづくり協議会との連携は欠かせないものであるが、まち協22団体には、運営や課題がそれぞれ異なっており、各地域に適切な支援をお願いしたい。</p>
	<p>地域によって「まちづくり協議会」の取組に独自性(個性)があると思われるため、それぞれの活動にあった支援ができるように工夫していただきたい。予算確保と同時に各協議会への広報にも努め、協議会相互の情報交換への助言などにも尽力されるようお願いしたい。</p>

今後の取組	<p>社会教育推進講座は地域の課題とつながる取組を行える事業と考えている。政策推進課、各地域まちづくりアドバイザーとの連携を更に強化して、市内全まちづくり協議会に的確な支援が出来るよう準備したい。また、広報紙やホームページを活用して市内全まちづくり協議会へ周知していきたい。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>3</td> </tr> </table>	方針
方針	3	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	25
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	宇陀シティマラソン事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の豊かな自然の中で、心身の健康維持を目的とし、「走ろう宇陀! ふれあう心」をスローガンに宇陀シティマラソンを開催し、宇陀市のPRにつなげる。</p> <p>【内容】市役所周辺を会場にファミリー(1km)、2km、3kmの3コースを設定し、市内外から参加者を募って開催する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】実行委員会で協議した結果、5月頃の段階では、新型コロナウイルス感染症の見通しが明確でなかったため、コース設定を前回の大会同様に規模を縮小(10kmコースなし)して開催することで準備を進め、開催することができた。ゲストランナーを迎え、前日にランニング教室を開催(参加者15名)。当日はファミリーコースで出走いただいた。ランナーエントリー723名、前日、当日ボランティアスタッフのべ約410名。</p> <p>【課題】運営体制(ボランティアの確保等)を見据え、安全・安心に開催できるよう実行委員と共に協議をして、コース設定を検討する必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>宇陀市を挙げての事業であり、市外からも多くのランナーが参加している。今回は、10kmコースがなかったが、ランナーの意見、スタッフやボランティアの配置等関係機関と協議して安全、安心に開催できるように望む。</p>
	<p>市外からの参加者も多いので、「走る」ということだけに限定せず、宇陀市のPR活動(食べる、癒やす、遊ぶ、見る)も取り入れているのも素晴らしく、一大イベントとして成長していると感じる。ポストコロナで、実施方法の変更(10kmコースの再開)も迫られると思うが、スタッフの確保等の難しさもあるのでないかと考える。工夫して継続してほしい。</p>

今後の取組	<p>宇陀シティマラソンは、当初10kmのコースがあり沢山のランナーがエントリーしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止が続き、令和5年3月に再開したが10kmの部の開催を見送っている。</p> <p>実行委員会では、10kmの部復活で動いているが、久々の10kmの部開催となるので、周辺地域への説明会を始め、様々な調整案件に気を付けて進める。</p>
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	26
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	市民スポーツ大会事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心の健康・体力の増進・競技力の向上を目指し、生涯を通じたスポーツ活動の振興を図る。</p> <p>【内容】市スポーツ協会が中心となり、20種目ある競技ごとにスポーツ大会を開催する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】スポーツ大会を主催している各競技連盟・協会において、予定通りスポーツ大会を開催することができた。</p> <p>【課題】今回は新型コロナウイルス感染症対策のための制限がなくなり、ほとんどの競技種目が通常通りの開催となったが、大会を中止していた期間が長かったため完全に以前のように戻っていない。連盟・協会と共に各団体の活性化を図る必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>スポーツを通して心の健康、体力増進、競争力の向上を目指すものであるが、20種目の競技があることが市民に浸透していないように思われる。写真や動画を含めた広報で市民に関心をもってもらうことが必要である。</p> <p>スポーツ大会は、各種スポーツに親しんでいる人たちにとっては日頃の活動の成果を発揮する場であり、目標にするものでもあるので、今後も粛々と継続して行ってほしい。運営自体は協会や連盟任せになることが多いと思うが、昨今の異常気象等も考慮(熱中症、降雨・落雷等の事故も想定)し、安全面や救急対応の準備などへの注意喚起や指導が重要ではないか。また、活動の様子や結果などを市のWebページで紹介するなどの取組も効果的ではないか。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>各競技部の活動は、教育委員会が関わらなくても活動されているため、悪く言えば「放置」してしまっている。それぞれの競技部の活動を支援する意味でも様々な方法を使って活動を紹介して競技団体の活動を支援していく。</p>	
	方針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	27
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】宇陀市の豊かな自然の中で、起伏のあるロードレースに適した道路を用い、近畿各府県から高等学校自転車競技選手を招き、宇陀市のPRにつなげる。</p> <p>【内容】近隣住民他、各関係機関の協力を得て、宇陀市農林会館をスタート、ゴールとする周回コース(1周6.7km 男子:12周 女子:1周)によりロードレースを開催する。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】関係機関の協力のもと、近畿2府4県の高等学校から30校、130名が出場し、無事に開催できた。</p> <p>【課題】宇陀市での開催は10回目となり、次年度は兵庫県での開催となる。宇陀市で開催する最終の大会となるが、選手・関係者、観覧者の安全・安心を確保できる大会とするため、開催に向けて関係機関と共に進める必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>10年目を迎えた大会は恒例となったが、無事に大きな事故なく終えられたのは事業の成功を示すものである。市民に自転車に親しんでいただくために、更なる啓発や他の部署との連携だが自転車専用道路の建設も提案したい。</p>
	<p>地元高校の自転車競技部との連携の中で生まれた(誘致した)事業である。全国にある大会誘致事業のうちの一つを宇陀市が担ってきたことは誇らしいが、10年をもって終了ということで大変残念である。今後は、レースだけでなく自転車の楽しみ方や安全な乗り方などについて啓発する取組や宇陀市をPRする自転車の活動などに発展させていく方法はないか検討願いたい。</p>

今後の取組	<p>このロードレースは、令和6年6月開催の大会を一つの区切りとして、宇陀市での開催は最後になる。</p> <p>近畿高等学校の大会は行わないが、令和13年には奈良県で国民スポーツ大会の開催され、宇陀市での開催種目のなかに自転車のロードレースがある。奈良県及び自転車競技連盟と連携し進める。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	28
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	総合体育館・総合運動場運営事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】体育施設の整備充実と健全な管理運営に努め、利用促進を図る。</p> <p>【内容】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、体育館・運動場の効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用ができるように努める。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館利用者数</td> <td>29,172人</td> <td>30,657人</td> <td>41,378人</td> <td>42,295人</td> <td>102.3%</td> </tr> <tr> <td>運動場利用者数</td> <td>5,326人</td> <td>7,883人</td> <td>8,256人</td> <td>7,111人</td> <td>86.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>体育館利用については、新型コロナウイルスの5類移行に伴い利用者数も増えてきている。コロナ前の利用者数に戻りつつある。 運動場利用については、大会減少(還暦野球)のため利用者数が減少している。 体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めた。</p> <p>【課題】大規模改修に向けた基本計画の策定を行う。</p>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率	体育館利用者数	29,172人	30,657人	41,378人	42,295人	102.3%	運動場利用者数	5,326人	7,883人	8,256人	7,111人	86.2%
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率																	
体育館利用者数	29,172人	30,657人	41,378人	42,295人	102.3%																			
運動場利用者数	5,326人	7,883人	8,256人	7,111人	86.2%																			
達成度	A	必要性	A	有効性	A																			

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>総合体育館、総合運動場共に市民にとって必要な施設である。スポーツ大会の開催、運営にも大きく貢献している。総合体育館は、これまでもトイレ改修等整備を行ってきたが、更なる大規模改修の必要もあり、基本計画を策定し、これにより充実した施設となるように願っている。</p> <p>市民のスポーツ振興だけでなく広く県内外の人たちが利用する施設となっている。また、様々な行事等にも活用され、宇陀市にとっては大変重要な施設であり、活用度や必要性は高い。社会の要請や環境の変化に対応した施設として運営していくためには、大規模な改修が必要となるのは当然であるが、設計着手に向けて、計画的に事前調査や準備が進められることを望む。また、市民の要望や意見聴取も丁寧に行っていただきたい。</p>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	大規模改修に伴う基本計画策定に向けた事前調査や利用者の要望等を聴取するとともに、整備の充実と健全な管理運営を行い利用促進を図る。
	方 針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	29
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】水泳やテニスを通してスポーツ振興と健康増進を図り、効率的な管理運営と利用者の増加を進める。</p> <p>【内容】市民のスポーツとレクリエーションの振興を図り、健康増進を推進し、室内温水プール及びテニスコートの効率的な管理運営を行い、安全で快適な利用ができるように努める。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール利用者数</td> <td>22,531人</td> <td>26,353人</td> <td>28,681人</td> <td>32,442人</td> <td>113.1%</td> </tr> <tr> <td>テニス利用者数</td> <td>4,149人</td> <td>4,681人</td> <td>4,650人</td> <td>4,710人</td> <td>101.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>プール利用者は前年度と比較して増加となった。 施設・設備の老朽化による細々とした修繕を行いながら、施設整備と効率的な管理により、安全で快適な利用ができるよう努めた。</p> <p>【課題】大規模改修に向けた基本計画の策定を行う。</p>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率	プール利用者数	22,531人	26,353人	28,681人	32,442人	113.1%	テニス利用者数	4,149人	4,681人	4,650人	4,710人	101.3%
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率																	
プール利用者数	22,531人	26,353人	28,681人	32,442人	113.1%																			
テニス利用者数	4,149人	4,681人	4,650人	4,710人	101.3%																			
達成度	A	必要性	A	有効性	A																			

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>学校の水泳事業にも使用されている室内温水プールは、市民の健康増進を図る上でも必要な施設である。老朽化が現実問題として存在するが、大規模改修に向け適切な計画を立て、市民にとってかけがえのない施設になることを切望する。</p>
	<p>県内で市民が利用可能な温水プールはそう多くないので、採算重視ではなく維持し、管理運営していってくれることは必要であると思う。利用者はある程度固定しているかもしれないが、市民の多様なニーズに応えるためには必要な施設であると考え。整備には大規模な予算措置が必要となるが、様々な知恵を絞って取り組んでいただきたい。</p>

今後の取組	<p>大規模改修に伴う基本計画策定に向けた事前調査や利用者の要望等を聴取するとともに、整備の充実と健全な管理運営を行い利用促進を図る。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	30
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	小学校水泳教室事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】水泳技能を学び、水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康づくりの推進を図る。</p> <p>【内容】市内の小学校2、3年生を対象に、水泳を通してスポーツの楽しさを知り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的として、夏休み2日間にわたり水泳専門講師によって授業を行う。</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> <td>増減率</td> </tr> <tr> <td>水泳教室生徒数</td> <td>実施せず</td> <td>実施せず</td> <td>110人</td> <td>131人</td> <td>119.1%</td> </tr> </table> <p>新型コロナ5類移行の制限緩和で1時間15分の教室を1時間30分に増やした。また、教室を4部制から3部制にし、6校ある小学校を2校ずつ合同で実施したことにより他校との交流で親睦も深まった。</p> <p>【課題】市内の小学校2、3年生333人中、参加者数は222人であった。水泳の楽しさを知ることや基礎体力の向上、健康づくりの推進を図るための事業であるため、更に多くの参加者を募りたい。</p>					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率	水泳教室生徒数	実施せず	実施せず	110人	131人	119.1%
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率											
水泳教室生徒数	実施せず	実施せず	110人	131人	119.1%												
達成度	A	必要性	A	有効性	A												

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	市内子どもたちにとって体力向上、健康づくりに必要な事業である。多くの参加者を募るには、動画による広報も効果があると思われる。更に、防災の観点から自分の身は自分で守るという意識を水泳に取り入れてはどうかと考える。
	市内の小学校のプールの老朽化や稼働停止により、夏休みにプール水泳の出来る機会が少なくなっている現状で、少しでも水に親しむ機会を作ってくれることは有意義で、対象児童の半数近くが参加していることから有効性の高い事業である。室内プールで紫外線の心配もなく安全に泳げるのも良い。

今後の取組	より多くの子どもたちに、水泳の楽しさを知ってもらい、体力向上や健康な体づくりを目指して取り組んでいく。また、水泳教室を他校と合同で実施することにより親睦を深めてもらう。
	方 針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	31
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	水泳教室事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】ジュニアにおいては、水泳の基礎技能を学び、スポーツの基礎体力をつける。また、成人は水に親しみ、水泳の楽しさを知り、健康増進を図る。</p> <p>【内容】水泳教室を専門業者に業務委託し、一年を通して専門講師から、能力に合わせた技能を習得する。 水泳教室(幼児コース、児童・生徒コース、選手コース、成人コース)</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> <td>増減率</td> </tr> <tr> <td>水泳教室生徒数 344人</td> <td>318人</td> <td>291人</td> <td>307人</td> <td>105.5%</td> </tr> </table> <p>コロナが5類に移行後も、消毒等の感染対策や水質管理等の衛生面に注意を払いながら実施した。 各々が目標を持ち、それを達成することにより水泳の楽しさや喜びを感じる事が出来た。また、成人においては、水に親しみ、水泳の楽しさを知ってもらい、健康づくりに貢献した。</p> <p>【課題】生徒数が年々減少傾向にある。</p>					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率	水泳教室生徒数 344人	318人	291人	307人	105.5%
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率										
	水泳教室生徒数 344人	318人	291人	307人	105.5%											
達成度	A	必要性	A	有効性	A											

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>水泳教室に前年より多くの市民に参加いただいたことは喜ばしく意義がある。水泳の楽しさをアピールし健康増進を図ることは今後も重要である。</p> <p>幼児コースから成人コースまですべての年代で水泳に親しむことが出来る環境を整えていることは、多様な生涯スポーツのニーズに応える意味からも素晴らしいことである。プールの維持管理や改修等を行うためには多額の経費がかかるが、このような事業に活用することで有効活用されていくと考える。</p>
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>より多くの市民に水泳の楽しさを知ってもらい、健康と体力づくりの推進を図るための重要な事業であり、継続して水泳に親しむことが出来る環境を整え進める。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	32
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】駅伝の楽しさを知り、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識や人を思いやる心を育てる。</p> <p>【内容】長距離走を通して子どもたちの体力向上と健全育成を図るとともに、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、豊かな人間性をつくる。各小学校5・6年生に希望者を募り、駅伝練習を3カ月間行った後、「奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」に参加する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】3月2日の大会に向けて、男子7人、女子6人の参加者で、12月から2月まで毎週末練習を行い、駅伝の部で36チーム中12位、タイムトライアルで男子の部16位、女子の部7位(入賞)となった。</p> <p>【課題】市内各小学校から参加してもらうことが必要である。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>走ることの楽しさや駅伝に興味をもつ子どもたちに機会を与える事業である。県市町村子ども駅伝に出場する選手の養成であるが、あくまでも社会体育であるためそれぞれの児童の目標に合う指導を願いたい。</p>
	<p>参加者数を達成度の指標とするならば、県の大会に出場して好成績をあげることを事業の最終目的にするのではなく、大会参加を希望しなくても参加できる長距離走教室のような事業に進化させていくのはどうだろうか考える。その活動を通して、学校の枠を超えた仲間意識や基礎体力を育成することが出来るのではないかと。そして、その結果として、さらに希望する児童は県の大会に参加するという流れにすることで、代表になれなくても活動を楽しむことができ、参加者の達成感も高まるのではないだろうか。</p>

今後の取組	<p>駅伝や長距離走に興味がある子どもたちが参加してくれる事業であるが、それぞれの児童の体力や目標に合った指導を行いながら、基礎体力や連帯感を養い県大会に向けて練習を行う。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	33
担当課	総合体育館

事業の情報	事業名	大人のための運動教室事業	
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針	②生きる活力と喜びを与えるスポーツライフの推進
事業の目的・内容	<p>【目的】ウェルネスシティ宇陀市構想に基づき、中高年の健康増進、体力維持、疾病予防等を目的とした運動教室を通じて、コミュニケーションを深めながら、心身の健康づくりに寄与する。</p> <p>【内容】室内温水プール及び総合体育館内の施設を利用した継続型の運動教室の開催をする。(筋力体力アップ体操・エアロビクス・ピラティス・ヨガ・膝腰改善ウォーキング)</p>		

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減率
		筋力体力アップ体操	22人	24人	37人	35人	94.6%
		エアロビクス	14人	19人	23人	26人	113.1%
		ピラティス	19人	29人	39人	44人	112.8%
		ヨガ	57人	63人	66人	62人	93.9%
		膝腰改善ウォーキング	35人	37人	36人	34人	94.5%
		合計	147人	172人	201人	201人	100.0%
		運動を始めたいと思っている人や、運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に開催することで、運動の習慣化につなげていける。 【課題】より多くの新規受講生が参加してもらえるような対策が必要である。					
		達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>各運動教室は、市民の健康づくりに効果を上げていると考えられる。各教室の募集は、口コミや工夫された広報が必要である。運動器具の新設や更新も市民の健康増進、体力維持に必要であると考えられる。</p> <p>自分ではなかなか運動を続けられない人たちにとって、定期的に行われる運動教室は有り難いものである。高齢者の参加が多いということであるが、市民の健康増進に対する意識の高まりを感じる。これも多様なニーズに応じた事業であるといえる。今後は、施設の改修時期に併せて自由に使える運動器具の設置を充実させるなど、多様な運動に対するニーズに応える取組などを期待したい。</p>
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>引き続き、中高年の健康増進、体力維持、疾病予防等を目的とした運動教室に取り組む。また、参加者が増加傾向にあるものは口コミや工夫した広報活動を行うことで、更なる新規参加者を募る。</p>
	方 針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	34
担当課	生涯学習課

事業の情報	事業名	二十歳のつどい事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】二十歳となる方が親や周りの大人達に保護されてきた子ども時代を終え、自立し、大人の社会へ仲間入りすることを激励・祝福するために成人式(式典・記念行事)を開催する。</p> <p>【内容】10時～10時30分:式典[開式、国歌斉唱、お祝いの言葉(市長・議長)、来賓紹介、記念品目録贈呈、誓いの言葉]</p> <p>10時30分～11時:記念行事(お笑いライブ<藤崎マーケット>、ビデオレター)※実行委員会主催</p> <p>11時～12時:写真撮影</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】「宇陀市二十歳のつどい」として文化会館で開催し、混雑を避けるため、会場前にテントを設置して受付業務を行い、無事開催ができた。写真撮影のスムーズな運営により、時間の短縮に取り組むことができた。対象者260名中、190名(出席率73.1%)の参加があった。</p> <p>【課題】実行委員会を結成して、時代にあった開催内容等を実行委員と共に検討する必要がある。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>実行委員会形式的による開催が定着しているのは、自分たちが主役であるという点で価値がある。宇陀市を転出して二十歳を迎える参加希望者が多く参加できるように、案内状に工夫を加えることも考えられる。参加者には、郷土に親しみや誇りをもてる社会人に成長してほしい。</p> <p>行政が企画運営し新成人が参加するだけの取組からこのような事業展開になってきたというのはアイデアと決断の賜であると高く評価したい。令和4年度からの新たな名称もいいと思う。若い人たちがもつエネルギーやアイデアを自分たちで創り上げる集いという形が定着しているが、毎年の実行委員会への支援は毎年新鮮な気持ち(0ベースからの創り上げ)で対応していただきたい。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>二十歳をつどいを実施するにあたり、広報紙、自主放送、ダイレクトメール(対象者)を活用しているが、ご意見にあるように市外転出者への周知に課題がある。案内する場合に市外転出されている方も連絡をいただければ「宇陀市二十歳のつどい」に参加できるといった内容を加えるようにする。また、お知り合いで宇陀市から転出した方で二十歳のつどい対象者の方をご存じの場合はお声かけをお願いするといった内容を付け加える等の工夫をする。</p>	方	針	2
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	---	---

※方針は次の1～5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	35	
事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業	
担当課	文化財課	
事業の 教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進
事業の 情報 事業の 目的・内容	<p>【目的】平成18年に国から選定された宇陀松山地区の重要伝統的建造物群保存地区について補助事業を行い、歴史的な町なみの景観を維持・向上を図る。</p> <p>【内容】歴史的な町なみの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理とそれ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行う。現在、伝建地区の防災計画改定のため耐震対策の調査を行っており、防災計画の改定に取り組んでいる。</p>	

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】令和5年度は6件(修理6件、修景0)の改修をした。また、防災計画改定のため、松山地区において耐震診断を行い、補強工法を検討した。</p> <p>【課題】補助制度を活用して改修希望する件数が増加している。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>重要伝統的建造物群の保存は、補助事業としてのみ成り立つ事業である。補助金を活用しても自己資金も生じ、所有者の思い通りにならないことも考えられる。また、防災面での充実も必要ではないかと考える。</p> <p>伝統的建造物の保存や修理は所有者個人に大きな負担となるものであるため、国や県、市の補助がないと実施できないと思われる。令和5年度は、申請のあったものについて改修が完了したということなので、今後も補助金を活用して粛々と進めていただきたい。</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>令和6年度から産官学連携事業による地域課題解決として取り組み、これまで行ってきた耐震対策に対する結果を施工上・実用上の問題、意匠がマッチするかなどの検証を行い課題を解決する。</p>	方針	2
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	36
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	文化財保存修理等補助事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】 補助金制度を活用して国・県・市指定文化財(以下、「指定文化財」という。)に対し所有者(個人・自治会等)の経費の負担を軽減する。また、指定民俗文化財を維持伝承していくため、後継者を育成するための経費の負担軽減を図る。</p> <p>【内容】 指定文化財の所有者が行う防災設備点検、建造物等の保存修理、防災設備設置、環境整備(庭木剪定等)に対して補助金を交付する。また、指定民俗文化財伝承や後継者育成経費等、文化財保護に対して補助金を交付する。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 令和5年度の補助事業は、保存修理1件、環境整備2件、民俗文化財伝承3件、防火設備点検13件であった。</p> <p>【課題】 補助金制度を活用し、文化財所有者(自治会等)は、貴重な文化財を次の時代まで引き継いでもらう必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>文化財の保存は、コロナ禍で中止になった行事等を復活させ後世に伝えていくために時間をかけずに若い世代に伝えていく必要がある。補助金制度を活用し、地域全体で取り組む必要があると考える。</p> <p>建造物等の文化財は、保存していくための経費が補助金だけでは賅えず、所有者負担も発生するため維持管理していくのは大変である。地域住民らが協力して環境整備等を行っているのが現状だと思うので、修理等の場合は市としても出来るだけのことをしていただくように願いたい。また、民俗文化財や伝承等は母体となる行事そのものが実施不能になるような事態が発生した場合は存続不可能となるため、映像ととして記録したり、活動の場を提供したりするなどの支援をお願いしたい。</p>
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>今後も補助金制度を活用して、文化財の修復を図っていく。 民俗文化財伝承事業については、事業継続できるようアドバイスや情報提供をしていく。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針	2
方針	2		

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	37
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	薬の館管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	【目的】	<div style="background-color: #f4a460; padding: 10px; text-align: center;"> 「薬の館管理」運営 移行したため廃止 </div>			
	【内容】				

担当課による自己評価	成果・課題	【成果】				
		【課題】				
	達成度		必要性		有効性	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
 「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	
------------	--

今後の取組	
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
 3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	38
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】市内の埋蔵文化財を保存及び記録し、保護対策を講じる。</p> <p>【内容】市内遺跡の発掘調査、個人の開発に先立つ事前の発掘調査、遺跡保存を目的とした範囲確認調査、発掘調査後の成果整理、市内遺跡の分布調査、出土遺物の保存処理、公共工事に伴う事前発掘調査等を実施する。また、埋蔵文化財に関する説明会や歴史文化講演会を行い、宇陀の歴史について知ってもらう機会をつくる。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】国庫補助事業で不動塚古墳(菟田野稲戸地内)の出土品の整理・分析を行った。 天理大学との共催で「宇陀歴史再発見」と称し、宇陀の古代・近世・近現代・万葉集をテーマに計4回の講演会を開催した。</p> <p>【課題】出土品の分析・整理を極力早く終了させるとともに、出土遺物についての報告を行う必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	埋蔵文化財の発掘には、時間を要するが、発掘した遺物は、保存、公開が必要である。大学等に協力を得て、講演会や展示に工夫をして、多くの人に考古学に興味をもってもらえるようお願いしたい。
	埋蔵文化財の発掘には、時間、経費等多くの資源が必要となるが、発掘されたものをどのように活用するかということも重要ではないかと思われる。令和5年度には、大学と連携した「講演会」を開催し、多くの参加者があったということは、「活用」という点でも素晴らしいことである。考古学に興味をもつ人も多いと思うので、市内だけでなく多くの人に見てもらえるように発表方法も工夫していただきたい。

今後の取組	引き続き出土遺物の保存・分析を行う。 令和5年6月の台風2号の大雨により宇陀松山城跡は、新たに斜面3カ所が崩落したため測量、発掘調査を行う。 講演会、遺物展示、考古学体験講座等を催し、文化財に対する関心を高めていく。
	方針

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	39	
事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業	
担当課	文化財課	
事業の 情報	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標 ④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
		Ⅲ基本方針 ②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進
事業の 目的・内容	<p>【目的】 公有地化を行った範囲を中心に城跡を整備していく。保存整備委員会で整備方針を協議し、市の活性化の一助となるよう事業を進めていく。</p> <p>【内容】 まずは災害復旧事業を進めていく。</p>	

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 公有化のための用地を取得した。 登城者のため、城跡や登城路の草刈を行った。</p> <p>【課題】 令和5年6月の台風により新たに土砂崩れが発生し、文化庁や県の指導により遺構確認調査の実施、災害復旧工事の設計・工法の変更と事業を見直すこととなった。現在遺構確認調査を行っている。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>宇陀を代表する松山城の登城路は、災害復旧工事の繰り返しとなっている。今後、用地交渉や工法の変更等に時間を要すると考えられるが、遺構保存に粘り強く取り組んでいただきたい。また、VR(立体的ホログラム)を活用し、中世の宇陀を見せられるような取り組みを提案したい。</p> <p>令和5年に新たに起きた土砂崩れ地の遺構確認調査も加わり、さらに仕事量も増えているようだが、用地交渉は着々と進行し、公有地化が予定通り進んでいるのは成果といえる。災害復旧工事と史跡の公有地化を並行して進めなければならないのは大変だと思うが、文化庁や県の指導を受けながら粛々と進めてほしい。</p>
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	遺構確認(発掘)調査を行った後、遺構保護工事を行うとともに、災害復旧事業の基本設計に取り組んでいく。	
	方針	3

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	40
担当課	文化財課

事業の情報	事業名	国指定天然記念物等保護再生事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】 市内の存在する国指定の天然記念物(スズラン・オオサンショウウオ・カザグルマ等)を保護し再生を図る。</p> <p>【内容】 向淵スズラン群は、環境の変化により衰退傾向にあり、環境調査を行う。オオサンショウウオは、日本固有種の保護が急務であり、交雑個体の緊急調査を実施する。カザグルマは、生育環境の改善を図り保全対策を行う。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 スズランは、分布調査・生育調査を行い「タヌキヤブ地区」において開花株数が減少したが「オクシバ地区」は10年ぶりに1個体であるが開花した。カザグルマは、ササの刈り取り、常緑樹の剪定と令和3年度に実施した高木剪定の効果により開花数は前年度31から83に増加した。オオサンショウウオは、64個体を捕獲し、うち新規個体16個体の遺伝子鑑定を行い3個体に交雑判定がでた。</p> <p>【課題】 交雑種の生息範囲を下流の河川から上流に遡上することを今後も防いでいく必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>天然記念物の生育は、自然環境に大きく影響を受ける。年によって、生育にバラツキが出るのは仕方がないが、柔軟な保護、再生をお願いしたい。オオサンショウウオの保護については、県や当該自治体と協議のうえ適切な保存に務めていただきたい。</p>
	<p>向淵のスズランは日本スズランの自生南限地である。温暖化等の環境の変化により衰退傾向ということで心配であるが、地域住民の協力が得られるということなのでしっかり保護してほしい。カザグルマやオオサンショウウオについても貴重な生物であるということなので、地域住民の理解や協力も得ながら保護活動を地道に進めてほしい。</p>

今後の取組	<p>スズランの分布範囲は横ばい状態であり、生育環境を維持して分布範囲を維持していく。カザグルマは、低木剪定、草刈等生育環境の改善を図っていく。オオサンショウウオについては環境調査を継続するとともに交雑種の拡散を防止する。また、日本固有種の生息範囲を広げるため河川関連部署と協議していく。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針
方針	2	

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	41
担当課	文化財課

事業の 情報	事業名	宇陀三城御城印作製			
	教育大綱の 位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進		
事業の 目的・内容	<p>【目的】 宇陀三城(宇陀松山城・芳野城・澤城)を御城印でPRし、宇陀市を訪れ、市のことを知ってもらう。</p> <p>【内容】 発売場所は、宇陀松山城(秋山城)御城印は、宇陀市松山地区まちかどらボ、芳野城御城印は奈良カエデの郷ひららと菟田野アグリマートに販売委託、澤城は旧旅籠あぶらやにて1枚300円で発売。また宇陀紙を使った宇陀松山城特別御城印は1枚500円で発売。御城印帳は1冊1,500円。</p>				

担当課による 自己評価	成果・課題	<p>【成果】 通常販売分に加え3月と11月に期間限定版オリジナル御城印をデザインし販売した。御城印は3,267部、御城印帳は28部を販売した。</p> <p>【課題】 通常販売だけでなくデザインの刷新や期間限定版を作りPRしていく必要がある。</p>				
		達成度	A	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検 評価 支援員 の 意見	<p>宇陀市について知っていただくのに素晴らしい取り組みであり、工夫を加えて継続していただきたい。</p> <p>宇陀市をPRする様々な手立ての一つとなるよう、他の史跡や施設とも連携しながら工夫した取組となるよう事業を進めていってほしい。御城印のデザイン作成に県内の大学の協力を得るなど、他の組織と連携して進めることはさらに認知度を上げることに繋がる取組であると思う。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の 取組	<p>大学と連携してデザインの刷新を検討していく。また期間限定販売などは広く周知していく。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>方針</td> <td>2</td> </tr> </table>	方針	2
方針	2		

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	42
事業名	宇陀市歴史文化館管理運営事業
担当課	文化財課
教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標 ④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう
	Ⅲ基本方針 ②郷土の文化を未来に継承、発展させる取組の推進
事業の情報	<p>【目的】 薬の館は、江戸末期の建造物で、来訪者に伝統的建造物に対する理解を深めてもらう。旧旅籠あぶらやは、伊勢本街道と伊勢街道の分岐点札ノ辻に位置し、旅籠を営んでいたが前身は油業であり、この施設の歴史・文化を知ってもらう。</p> <p>【内容】 両施設とも市指定文化財で一般公開している。薬の館は、薬関連の資料をはじめ、薬問屋であった細川家の内部を展示している。また、旧旅籠あぶらやでは、令和4年度から澤城の御城印販売している。</p>

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】 薬の館の入館者数は2,391人と昨年度比5%増となった。また、旧旅籠あぶらやの入館者数は1,318人で昨年度比4%減となった。地域イベント「ほんのりあんどん」や「おかげまつり」においては夜間延長開館を行った。旧旅籠あぶらやでは「おかげまつり」においてプロジェクションマッピングの会場として多くの人で賑わった。</p> <p>【課題】 多くの人を訪れるようイベント時の開館、また、市内小中学校及び高校の地域学習の場となるよう活用していく。</p>				
	達成度	A	必要性	A	有効性	A

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>市指定文化財を活用するのは市の重要な役目であり、市内小中学校に紹介していただきたい。高校や大学とも連携し、多くの人に訪れていただくよう、イベント等に工夫を加えていただきたい。</p> <p>市内の歴史的に価値のある施設を維持管理していくことは大切であるが、ただ残すだけでは経費がかかるだけである。本事業のように積極的に活用し、少しでも市民や観光客に活用してもらえるよう工夫することで認知度も向上し、PRにもなると思われる。新しい取組を取り入れるためには常に社会の動きに目を向けることが大事だが、市民の目線や若者のアイデアも柔軟に取り入れるようにしてみてもどうか。</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>薬の館においては、鍾馗像のポストカードを限定配布したり、旧旅籠あぶらやにおいてはプロジェクションマッピングの会場として提供し、入館者を広げていくとともに地元高校と連携し、郷土の伝統文化に関する学習の場として活用していく。</p>
	方 針 2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

令和6年度(令和5年度施策・実施事業分) 点検評価シート

事業番号	43
担当課	中央図書館

事業の情報	事業名	寄贈資料の管理運営事業			
	教育大綱の位置付け	Ⅱ基本目標	④「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう		
		Ⅲ基本方針	③宇陀のよさを次代へ継承、発展させる教育の推進		
事業の目的・内容	<p>【目的】図書館の貴重資料の閲覧を通じて玩槓(がんしゆく)文庫の魅力を紹介する。</p> <p>【内容】宇陀市に寄贈された約1万冊の貴重資料を宇陀市立図書館の蔵書として登録し、奈良カエデの郷ひららに玩槓文庫として開室する。また、玩槓文庫の管理運営を、奈良カエデの郷ひららに委託することにより、市民はもとより、ひらら来場者に対しても広く周知し、閲覧いただく。</p>				

担当課による自己評価	成果・課題	<p>【成果】玩槓文庫の資料を広く閲覧いただくため、中央図書館と大宇陀図書館に玩槓文庫のコーナーを設置し、年に数回資料の入れ替えを行う。また、紅葉の時期に特設コーナーを設けPRを行い、市民の方に文庫の魅力を伝えることができた。</p> <p>【課題】カエデが美しい時期に合わせて市の広報で周知し、館内の特設コーナーでも玩槓文庫の魅力を発信するが、すべて貸出ができない本である為、来館につながる部分もあるので、今後の検討が必要である。</p>				
		達成度	B	必要性	A	有効性

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い
「-」新型コロナウイルスの影響等により事業実施不可

点検評価支援員の意見	<p>寄贈された貴重な資料は、多くの人に知られていないのが現実と思われる。奈良カエデの郷ひららにカエデを見学に来られる方が、玩槓文庫の資料を閲覧されることは少ない。広報で周知をしているが、抜本的に検討する必要がある。</p> <p>膨大な資料が寄付され、保存されているようであるが、あまり活用されていないと聞いている。宇陀の歴史や考古学的な資料であれば丁寧な保存が必要であるが、そうでないものについては職員の業務量等も考慮し適切な対応が必要ではないか。寄贈資料の中には、カエデに関する資料も多くあるとのことなので、それらは「奈良カエデの郷ひらら」展示するのが有効であると思われる。</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組	<p>図書館にて「玩槓文庫コーナー」の設置を継続することで利用者の方にPRするとともに、広報媒体を通じて来館を促す。カエデが色づく季節に合わせ「カエデの郷ひらら」と連携しながら玩槓文庫の魅力を発信する。</p>	
	方 針	2

※方針は次の1~5の中から選択してください。1 さらに重点化する 2 現状のまま継続する
3 見直しの上、継続する 4 事業の縮小・休止を検討する 5 終了・完了

5 まとめ

宇陀市では、平成 28 年 3 月に宇陀市教育大綱を策定してから一定期間が経ち、その成果と課題を踏まえ、新たな宇陀市教育大綱を策定することになりました。この間、少子高齢化や過疎化、グローバル化、高度情報化、コロナ禍など子どもたちの置かれている環境は、大きく変わってきました。このような複雑で予測困難な社会の中で、主体的にたくましく生きる力を育むために必要な教育の実現を目指して、宇陀市総合教育会議において協議を重ね、教育大綱をまとめました。

令和 5 年度は新たな教育大綱に基づき事業を実施し、3 年目となります。時代とともに急速に変化する社会に対して、自ら課題を見つけ、学び、考え、行動できる人材の育成を目指し、ここに令和 5 年度の本市の教育施策を振り返り、次年度の施策に反映してまいりたいと考えています。

今後も、子どもたちが健やかに幸せに成長できるよう、地域や職場など社会全体で子育てを応援する施策を充実させるとともに、学校教育やスポーツ・文化活動の充実などさまざまな施策の展開に引き続き邁進してまいります。

【参考】

4 つの基本目標

- ・ 社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう ～学校でのひとづくり～
- ・ 地域全体で子どもを見守ろう ～地域でのひとづくり～
- ・ 家庭の豊かな教育力を育もう ～家庭教育でのひとづくり～
- ・ 「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう ～つながりづくり・生きがいくくり～